

放射能から子どもを守るために

相模原市は、2011年以降、保育園と学校の給食を一週間分冷凍し、ゲルマニウム半導体検出器で放射性セシウムなどの測定検査をしています。また給食に使う食材を事前に測定することも継続してきました。

一般質問では、1週間分の調理済み食事検査よりも、5年を経る中でわかってきた、セシウムが検出されやすいキノコ類やさつまいも、更に海産物などを測定し、各学校長や栄養士に結果も周知することを求めました。

また、学校の空間線量を過去のデータをもとに定期的に測定していますが、時とともに汚染物質の出方が変化していることから、雨の通り道になる排水溝の近くなどの泥や砂に注意し測定することを求



昨年、市内の学校の土壌検査を市と協力して行いました。

めました。

教育委員会や子ども関連施設の放射能対策をしてきたチームで今後も対応して動いてくれるようです。

ただ、保護者の心配から、関東でも市民らの協力で行われている、子どもの甲状腺エコー検査への支援も求めましたが、難しい現状です。

国が福島の子どもの甲状腺がんの多発にも、原発事故との関係性を認めていない事に

起因しています。

しかし、北茨城市でも甲状腺がんの子どもが出ています。福島医大での88例もの子どもの甲状腺ガン手術例は即手術が必要な事例だった、と医師が認めています。

関東にも広がった汚染に、今後長い時間をかけて向き合っていかなければなりません。子どもの命をまもるために自治体でもできる支援を粘り強く働きかけていきます。

コラム

就学援助

「就学援助」という制度があります。生活保護世帯のほか、生活保護基準収入の1.5倍の収入で学齢期の子どもがいる世帯が対象になります。

申請が必要で審査もありますが、認

定されると、給食費や学用品の購入費用、通学費、クラブ活動費、修学旅行費などを公費で負担します。収入が減ったり、生活が厳しい子育て世帯には、是非活用してほしい制度です。

下水道料金の未徴収問題も、未だ終わっていません。12月議会の会派の代表質問で、発覚後の今年の7月から11月の接続調査の中で、これまで無い、とされていた市の「指

定工事店」の工事での無断接続が4件出ていることが判明したと答弁しました。

ますます徴収しなかった件が釈然としません。4億8千万円にふたをするわけにはいかないのです。

コラム

下水道未徴収問題